

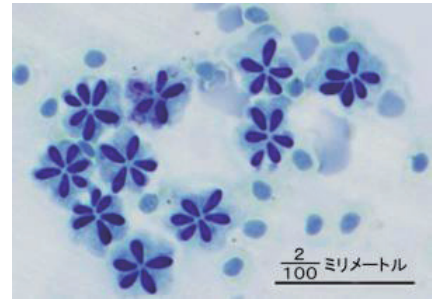
ヒラメのクドア寄生虫検査のご案内

かつては、クドア属の粘液胞子虫は魚類に寄生するが人体への健康的な影響はないものと考えられていました。しかし、近年、ヒラメ筋肉に寄生するナナホシクドア（学名：クドア・セプテンpunktata）が、下痢や嘔吐などの食中毒被害を引き起こす事例が多数報告されております。これに伴い、平成 23 年 6 月 17 日に、厚生労働省より、生食用生鮮ヒラメへの注意が喚起されております。

当社では、種苗生産、養殖などの一次産業、食品加工などの二次産業、流通・食品販売・飲食などの三次産業のお客様が、安心してヒラメを出荷・提供していただけるよう、クドア寄生虫検査をご提供いたします。



生食用ヒラメ



Kudoa septempunctata
(水産庁ホームページより転載)

検査の流れ

弊社では、平成 28 年 4 月 27 日付け生食監発 0427 第 3 号「Kudoa septempunctata の検査法について」により、リアルタイム PCR 検査、および、顕微鏡の検査を行っております。

